

第58回熊自交本部定期大会

組織の強化・拡大を主眼に取り組む 佐藤委員長が500名組織を語る

2014年10月05日 第58回熊自交本部定期大会を開きました。

2014年10月5日（日）午後1時30分、労働会館で開かれました。真東執行副委員長の開会あいさつの後、議長団に早野代議員（構内支部）、相馬代議員（オーケイ支部）を



選出し、大会書記に宗像執行委員、鍋島職員が指名されました。資格審査発表は「代議員34名中29名、委任5名、本部7名中7名」で、大会成立が宣言されました。執行部を代表して佐藤委員長は「熊自交50数年の歴史を経て、組織の強化拡大、そしてタクシー乗務員の地位と労働条件の向上のため、諸先輩の取り組んでこられたことを、私たちは継承し、熊自交組織の強化発展のため、ここ数年組織の強化・拡大を主眼に取組みを進めてまいりましたが、残念ながら、決定的な成果を見出すことは出来ませんでした。後ほど運動方針などで具体的提案を行います、不本意ながら専

従役員の配置を次年度以降は見送るといった結果になりました。私たちはこの結果を一日も早く解決するため、今後に向けた運動の再点検と、組織の強化拡大、そして熊自交組合員の地位と労働条件の向上に努めなければなりません。そのために私たちは、三つの目標を立て、最重要課題と位置付け取組みを進めることとします」とあいさつしました。三つの目標とは、第1に、2年後までに熊自交組合員数500名の実現を図る。第2は、タクシー事業の適正化・活性化法の完全実施とそれに伴い、タクシー乗務員の地位と生活向上の取組みです。第3は、来年3月から4月に実施される統一自治体選挙の取組みについてです。



来賓退席後、重光書記長から2013年度の経過と活動報告と決算、労信販事業報告と決算が承認されました。続いて2014年度の運動と活動方針（1号議案）、熊自交の在り方委員会での決定事項の提案（2号議案）、一般予算、労信販事業方針案と予算案が提案され承認されました。質疑では2支部3名から組織拡大について意見が出されました。任期満了に伴い役員改選があり、満場一致で承認され、大会スローガンが承認され、最後に佐藤委員長の「団結ガンバロー」で閉会しました。